

2020年3月25日

報道関係各位

三菱地所株式会社

NewsPicks、SPEEDA などの情報サービス事業を展開する 株式会社ユーザベースと資本業務提携 ～丸の内エリアの情報発信強化により多彩な人材の交流を促し、イノベーションを創出～

三菱地所株式会社（以下、当社）は、本日、株式会社ユーザベース（以下、ユーザベース）と、当社が実施する第三者割当増資を引き受け、約10億円の出資（当社保有割合：約1.9%）を行う資本業務提携を合意しました。資本業務提携を通じ、大手町、丸の内、有楽町エリア（以下、丸の内エリア）における情報発信・イベント実施などのまちづくりのソフト面の強化を目指します。

ユーザベースは、経済ニュースメディアの「NewsPicks」、「Quartz」や経済情報プラットフォームの「SPEEDA」などのサービスを運営している情報インフラ企業です。「NewsPicks」はスタートアップや若手ビジネスパーソンを中心に450万人以上の会員を有し、メディアコンテンツの提供のほかオリジナル動画番組の配信等も行なうなど、多彩な情報発信を得意としています。

今回の資本業務提携により、ユーザベースを丸の内エリアにおける情報発信のパートナーとし、イノベーション創出に向けた様々な施策を企画・実施していきます。

当社は、2020年以降のまちづくりを「丸の内NEXTステージ」と位置付け、イノベーション創発とデジタル基盤強化を通じ、個人のクオリティオブライフ向上と社会的課題の発見・解決を生み出すまちづくりを推進しています。ユーザベースの提供する「NewsPicks」のユーザー層は平均年齢が若く、次世代のビジネスリーダーに向けた情報発信が期待できます。ユーザベースの持つコミュニティ・情報発信の知見と、当社の持つまちづくりのフィールドと運営の知見を活用しながら、大企業やスタートアップに限らず多彩な人材の交流を促すことで、オープンイノベーションによって新たなイノベーションを生み出し続ける丸の内型イノベーション・エコシステムを構築するべく、協業を進めて参ります。

【資本業務提携の内容】



○丸の内での各種ビジネスイベント開催

- ・大企業とスタートアップの交流を通じた創造的な賑わいを生み出すことを目的に、丸の内エリアでの大規模ビジネスカンファレンスを共同企画。
- ・丸の内エリアの施設にて、大企業・スタートアップを対象に、起業家・イノベーターによるセミナーなどの小～中規模ビジネスイベントを開催。

○情報発信の強化

- ・丸の内エリアのイノベーション情報の動画配信番組を企画し、丸の内エリアの注目企業やイノベーターに着目したコンテンツを制作・配信予定。

当社は、今後も、新たな価値創出に向けて、当社グループ事業とのシナジーを見込める事業との連携・協業を検討していきます。

<ユーザベースの会社概要>

本社所在地：東京都港区六本木七丁目7番7号
設立：2008年4月1日
2016年10月 東京証券取引所マザーズに上場
資本金：4,096百万円（2019年12月31日現在）
事業内容：企業活動の意思決定を支える情報インフラの提供
従業員数：704名（連結）
代表者：代表取締役 CEO 梅田 優祐、代表取締役 COO 稲垣 裕介
Web サイト URL：<https://www.uzabase.com/>



<三菱地所株式会社の会社概要>

本社所在地：東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビル
設立：1937年5月7日
資本金：142,147,967,178円（2019年5月24日現在）
事業内容：オフィスビル・商業施設等の開発、賃貸、管理、収益用不動産の開発・資産運用、
住宅用地・工業用地等の開発、販売、余暇施設等の運営、不動産の売買、仲介、
コンサルティング
従業員数：899名 連結：9,439名（2019年3月31日現在）
代表者：執行役社長 吉田 淳一
Web サイト URL：<http://www.mec.co.jp>

（ご参考）『丸の内再構築』について

三菱地所は、1990年代の旧丸ビル建替え発表以降、『丸の内再構築』に取り組み、丸の内エリアを中心に時代の変化を先取りした先進的なまちづくりを推進して参りました。従来のオフィス機能に加え、インフラ、文化・芸術機能、コワーキング拠点やインキュベーション施設などの整備により 活気と賑わいを創出し、現在は、大企業だけでなく、プロフェッショナルファームやスタートアップなども含め、約28万人もの多様なプレイヤーが活躍しています。

2020年1月には、変化のスピードがさらに速まっている社会に対応すべく、2020年以降のまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ」と位置付け、「丸の内 Re デザイン」をテーマに、イノベーション創発とデジタル基盤強化を通じ、個人のクオリティオブライフ向上と社会的課題の発見・解決を生み出すまちづくりを推進する方針を打ち出しました。

常に変化を先取りし、世界から多様な人や企業が集い、交流することを通じて、新しい価値を生み出すまちづくりを推進し、これからも丸の内がトップランナーであり続けることを目指します。

以上

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ[※]」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf